

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図る。</p> <p>②生徒の学習意欲を向上させ、基礎的・基本的な知識の習得とそれらを活用する力を育む取組を充実させる。</p> <p>③総合的な学習の時間を充実させ、基礎学力の充実、キャリア支援を図る。</p>	<p>②定期試験の共通化を進め、授業で使用するワークシート等についても情報共有を進める。</p> <p>②生徒が基礎的な学力を身につけられるよう指導すると共に、進学を目指す生徒の学力向上方法についても検討し共有する。</p> <p>③1学年の総合的な学習の時間や9分総合の実施方法・内容等について、総合的に検討する。</p>	<p>②定期テストやワークシートの共通化を、各教科で検討する。</p> <p>②生徒が基礎的な学力を身につけられるよう、効果的な指導方法について、各教科で検討し、進学を目指す生徒の学力向上方法についても検討する。</p> <p>③1学年の総合的な学習の時間や9分総合について、より効果の上がる方法を、学習支援Gを中心に全職員で検討する。</p> <p>③1年生の9分総合の内容を充実させる。また、2年生以降の10分ホームルームでの取組を検討する。</p>	<p>②定期試験・授業プリント等の共通化を図ることができたか。教科会等を定期的に実施し効果的な指導法の開発に取り組むことができたか。</p> <p>③1学年の総合的な学習や9分総合の時間の計画を見直し、具体的な改善案を作ることができたか。</p> <p>③2年生以降の10分ホームルームを効果的に運用することができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえたきめ細かな生活指導と相談体制を充実させる。</p> <p>②部活動を充実させ、生徒が有能感を感じられる取組を進める。</p>	<p>①生徒一人ひとりが抱える困り感やニーズについて全職員が共通した理解をもつて、課題解決に向けて組織的支援・指導を行う。</p> <p>②生徒が有能感を感じられるよう、部活動週間等を充実させる。</p>	<p>①SCやSSWとの連携において、迅速な連携の在り方を検討し、学年会での情報共有やケース会議の結果を、実際の指導に迅速かつ継続的に反映させる。</p> <p>②部活動への参加の呼びかけを、生徒支援Gを中心に全職員で取り組む。</p>	<p>①計画的にSCやSSWとの連携を行い、ケース会議や研修会等を実施し、生徒一人ひとりが抱える課題を共有しつつ、課題解決に向けて迅速かつ組織的に対応することができたか。</p> <p>②部活動を通して、生徒が有能感をもつことができたか。</p>					

3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの自己実現を目指した体系的なキャリア教育を推進する。	生徒のキャリア意識を高めるため、4年間を見通した組織的な進路指導・教科指導を行い、進路決定、進級・卒業につながる教育活動を推進する。	生徒のキャリア意識を一層高め、進路決定者が増加するよう、各学年で進路指導の方法を工夫し、ガイダンス、説明会、面談等を効果的に実施する。	生徒のキャリア意識を高めることで、進路決定に対する意識を高め、進路を実現する卒業生の数が増加したか。					
4	地域等との協働	保護者や地域に信頼される学校を目標として、学校行事や地域貢献活動を通じた開かれた学校作りを推進する。	保護者や地域住民等と協働・連携した教育活動を展開し、ホームページや学校説明会等により広報活動を積極的に展開する。	地域との連携をより深め、保護者との連絡も密にし、学年のみでなく学校全体で情報を共有し、開かれた学校作りを推進する。	地域貢献活動・PTA活動への参加意識を高めることができ、参加者を増やすことができたか。 学校説明会やホームページ等の活用により、広報活動や情報発信を推進することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒にとって安全・安心な学校づくりに取り組む。 ②教職員が事故・不祥事防止に努める。	① 生徒の交通安全・防災・食生活に関する意識を向上させる。 ② 不祥事防止に教職員が主体的に取り組む。	① 交通安全や防災、防犯等について関係機関と日ごろから連携し、講演会、講習会、訓練等を実施して、より安全・安心な学校作りを行う。 ② 定期テストの共通化、指導情報の共有化等で職員個人によるミス無くし、事故を未然に防ぐ。 ② 事故防止会議への教職員の主体的取り組みを推進する。	① 交通安全・防災・防犯に関する生徒の意識を向上させるため、説明会、講習会、訓練等を実施することができたか。 ② 定期テストの共通化等によりミスや事故を起こし難い職場環境を作ることができたか。 ② 事故防止会議を毎月開催することができたか。					